

公益財団法人 文字・活字文化推進機構 NEWS LETTER

第4号

2021年12月22日

2021年も残すところあとわずかとなりました。皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。本年も格別のご高配を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。2022年も活字文化の振興、読書環境の整備に微力ながらも取り組んで参りますので、変わらぬご指導ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【実施報告】学校図書館図書等の整備・拡充を求める各界連絡会

新聞配備、学校司書の法制化など制度・政策の土台となる同計画の継続・拡充を求めるため、12月8日に学校図書館整備推進会議と当機構の主催で、衆議院第一議員会館にて2回目の各界連絡会を開催し、立法府と行政府に対して要望を伝えました。今回は「学校図書館の整備・拡充について」などの報告を行い、新聞界、出版界、図書館関係者など約100名の参加がありました。文部科学大臣宛、総務大臣宛の要望書「学校図書館等の整備・拡充に関する要望」は、当機構ウェブサイトでご覧いただけます。



【実施報告】高校生書評合戦（ビブリオバトル）2021 東京都大会

11月21日「高校生書評合戦（ビブリオバトル）東京都大会」を東京都教職員研修センターで開催しました。予選を通過した123名の高校生が参加しました。今年のチャンプ本には『夜のピクニック』（新潮社）、準チャンプ本は『僕が愛したすべての君へ』（ハヤカワ文庫）が選ばれました。作家の柚木麻子さんによる講演では会場にいる高校生との質疑応答も行いました。講演会および決勝戦はオンライン配信を行い、学校関係者が視聴しました。チャンプ本、準チャンプ本に選ばれた2名は、東京都代表として全国大会に出場予定です。



【開催予定】オンラインシンポジウム「教育の急激なデジタル化の問題を考える」

12月24日にオンラインシンポジウム「教育の急激なデジタル化の問題を考える」を配信します。このシンポジウムは2部構成となっており、第1部は『デジタル馬鹿』（花伝社）の著者でフランス国立衛生医学研究所所長のミシェル・デミュルジェさんの講演、第2部は東京大学大学院教授の酒井邦嘉さんと国際ジャーナリストの堤未果さんの対談をお送りいたします。事前申し込み不要で12月24日18時より約1ヵ月ご視聴できます。



▶ご視聴はこちらから（12/24 18時公開）
<https://www.mojikatsuji.or.jp/news/2021/11/22/5204/>



【実施報告】第46回通常理事会。銭谷・元文科事務次官への顧問委嘱

12月17日に、日本新聞協会会議室において、第46回通常理事会を開催いたしました。本会には、顧問の細田博之・衆議院議長（活字文化議員連盟会長、右写真）と河村建夫・前衆議院議員（学校図書館議員連盟会長、子どもの未来を考える議員連盟会長）も駆けつけ、ご挨拶いただきました。続いての「2021年度活動報告」では、山口寿一理事長より以下の報告がなされました。



▼山口寿一理事長 活動報告（概要）

6月24日の評議員会並びに理事会で、私が理事長に選任されて以来、あと1週間でちょうど6カ月ということになりますので、事務局からの詳細報告に先立って、まずは、私より、この半年、当機構の理事長として活動してきて、気づいたこと、印象に残ったことを申し上げます。

就任記者会見で、私が申し上げたことは、これまでの活動を引き継ぎながらも、とくに4つの重点活動を挙げました。1つめは「学校教育のデジタル化への提言」、2つめは「学校図書館の人と資料の充実」、3つめは「読書バリアフリー法の普及促進」、4つめは「日本の書籍文化の海外発信支援」です。

1つめの「学校教育のデジタル化」に関しては、デジタル技術で便利になるという一方で、脳科学や児童心理、健康に関する研究者には、慎重な意見が多いことも明らかになっています。こうした研究結果を収集・検討し、「アナログとデジタル、それぞれの特徴を生かした教育の在り方」を検討、アピールしていきたいと思っております。

2つめの「学校図書館の充実」は、今年度が第5次「学校図書館図書等の整備推進5か年計画」の最終年度となることから、第6次の策定に向けた取り組みを行っています。活字文化議員連盟と学校図書館議員連盟のご協力を得て、2回の集会を催し、そうした場を通じて文部科学省と総務省に、第6次計画の策定を強く申し入れをしているところです。

3つめの「読書バリアフリー法の普及促進」につきましては、関連法の施行を受けて出版業界でも具体的な動きが始まっておりますので、当機構でも関係省庁や団体と連携を取って活動してまいります。また、毎日新聞が発行する「点字毎日」は、来年2022年に、創刊100周年を迎えると伺っております。まさに、活字文化のバリアフリー化を1世紀にもわたり実践されていることに、改めて敬意を表します。機構もご一緒に活動する機会があればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

4つめの「日本の書籍文化の海外発信支援」は、関連省庁と翻訳関連事業の検討をしております。これが実現すれば、日本文学の翻訳者や編集者の育成、ネットワーク化の役に立てるものと考えています。

このように、事業活動については小さな事務局ながら、議員連盟や関係団体、役員の皆様にお力添えいただきながら、活発に活動しています。一方で、さらなる活動の活性化と組織の基盤整備のためには、財務の安定が不可欠と考えており、維持会費や寄付の拡充促進に取り組んでいるところです。

また、「第1号議案 顧問の委嘱」では、元文部科学事務次官の銭谷眞美・東京国立博物館長に顧問を委嘱することが、満場一致で承認されました。

公益財団法人 文字・活字文化推進機構

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2-30 共同ビル神保町4F

TEL 03-3511-7305 FAX 03-5211-7285 MAIL office@mojikatsuji.or.jp

<https://www.mojikatsuji.or.jp/>